




取組の具体的事例は？（取組には何年かかるの？）

南区の「石山小学校」と「石山南小学校」の統合の事例を紹介します。

平成24年時点で石山小学校は6学級、石山南小学校は8学級と、2校とも適正規模を大きく下回っており、学校規模適正化の取組が急務でした。

4年間、計16回の検討委員会を経て、平成31年4月に統合校が開校しました。

統合校は、旧石山小学校敷地を活用し、校舎を改築の上、児童会館とまちづくりセンターが複合化されています。

平成24年	対象地域に選定	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域、学校との意見交換 	
平成27年	第1回～4回検討委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 統合校の位置 改築等工事 開校予定時期 などを協議 	
平成28年	第5回～9回検討委員会開催 市教委に対し、「意見書」を提出	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりセンターと児童会館の複合化 統合校の施設配置 閉校する学校の跡活用 などを協議 	
平成29年	第10回～14回検討委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 通学安全、跡活用について協議 両校の交流事業開始 	
平成30年	第15回～16回検討委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 統合校の開校準備 跡活用 検討委員会閉会の時期 などを協議 	
平成31年	「石山緑小学校」開校		

札幌市・市教委にて統合について正式決定後、開校に向けた施設整備・準備開始

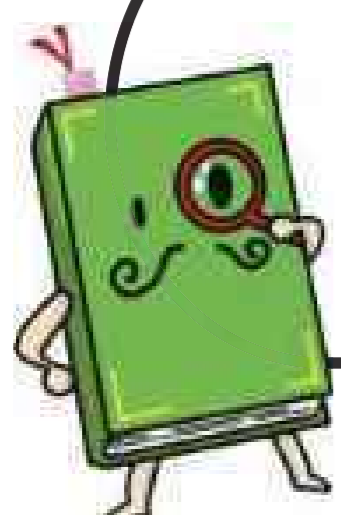
検討委員会について

構成メンバー

- 連合町内会役員4名
- 地域団体6名
- 各小学校PTA役員3名ずつ
- 各小学校校長 等

開催場所

まちづくりセンターに併設されている地区会館の会議室



これまでの「学校規模適正化の取組」では、検討開始から統合に至るまで、長いところでは7年～8年の期間を要しているんだ。

統合した学校の子どもや保護者は何と言っているの？

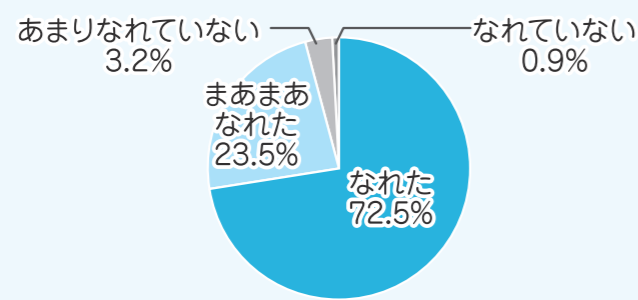
石山緑小学校「新しい小学校になったことについてのアンケート調査」結果

平成31年4月に開校した石山緑小学校における子どもたちの様子などを把握するため、在籍する2～6年生の児童、保護者及び教員を対象としたアンケート調査を令和元年12月に行いました。以下は、アンケート結果の概要です。アンケート結果の詳細及び、他の地区でのアンケート結果を札幌市公式ホームページで公開しています。

児童アンケート

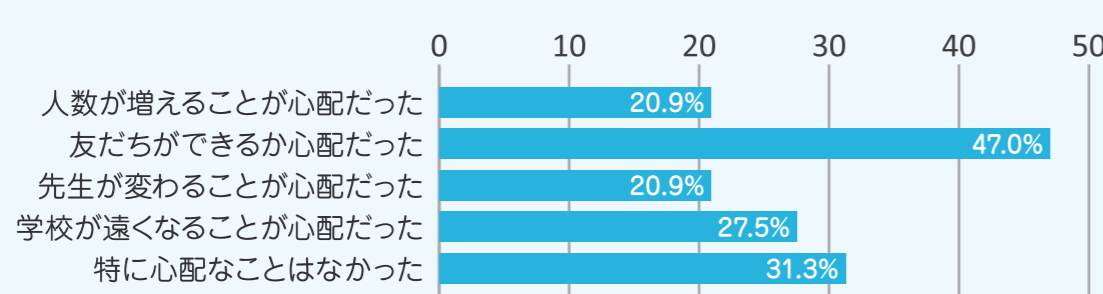
回答数345件(回答率95.8%)

●石山緑小学校には、なれましたか？



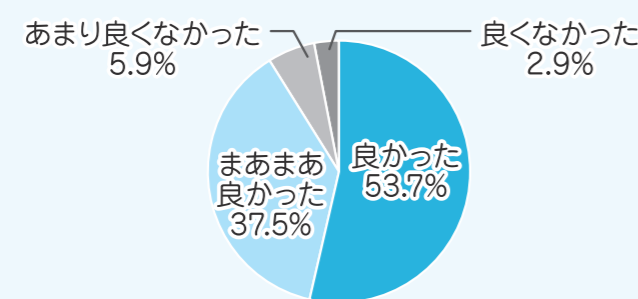
「なれました」「まあまあなれました」と回答した児童が全体の9割を超えています。

●石山緑小学校になるまで、どのようなことが心配でしたか？(複数回答)



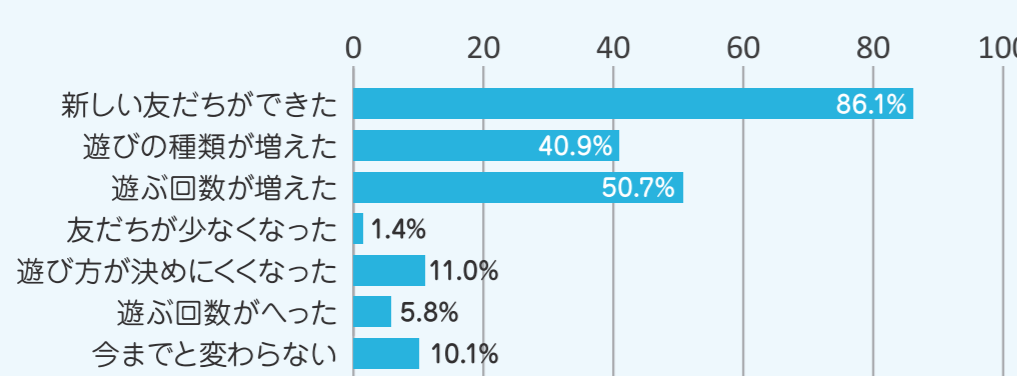
約半数の児童が「友だちができるか心配だった」と回答した一方で、約3割の児童は「特に心配なことはなかった」とも回答しています。

●石山緑小学校になって人数が増えましたが、そのことについてどう思いますか？



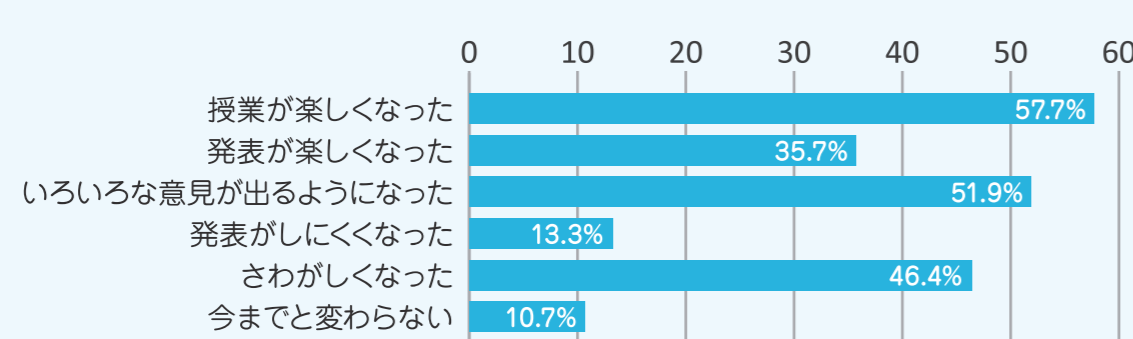
「良かった」「まあまあ良かった」と回答した児童が全体の9割を超えています。

●人数が増えたことで、友だちや遊びについてどのように変わりましたか？(複数回答)



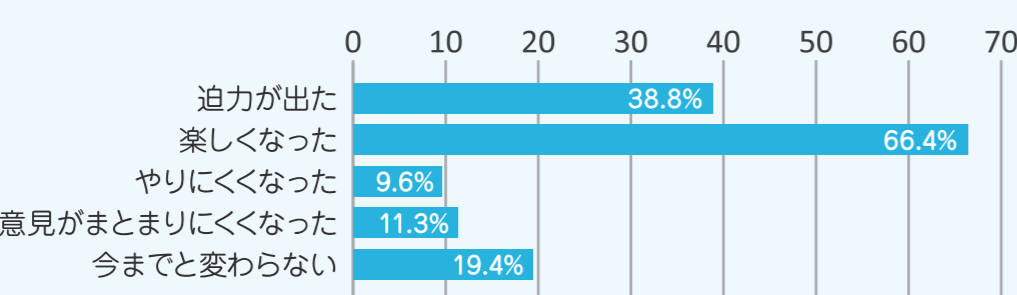
8割を超える児童が「新しい友だちができた」と回答しました。また、4～5割の児童が「遊ぶ回数が増えた」「遊びの種類が増えた」と回答しています。

●授業の様子は変わりましたか？(複数回答)



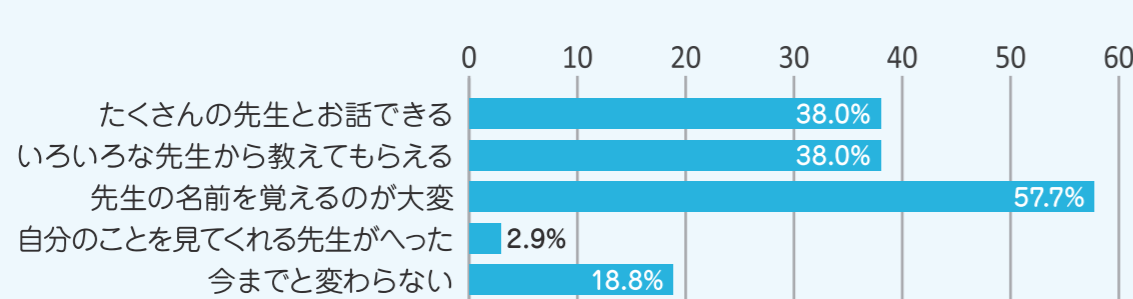
半数以上の児童が「授業が楽しくなった」「いろいろな意見が出るようになった」と回答した一方で、4割を超える児童が「さわがしくなった」とも回答しています。

●運動会や学習発表会など、行事の様子は変わりましたか？(複数回答)



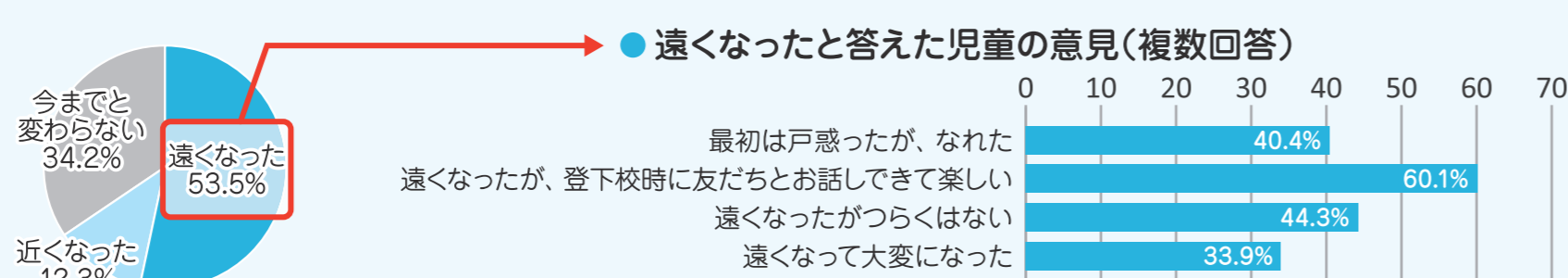
6割以上の児童が「楽しくなった」と回答しているほか、約4割の児童が「迫力が出た」と回答しています。

●先生が増えたことで変わったことはありますか？(複数回答)



半数以上の児童が「先生の名前を覚えるのが大変」と回答した一方で、約4割の児童が「たくさんの先生とお話できる」「いろいろな先生から教えてもらえる」と回答しています。

●石山緑小学校になって、学校まで遠くなりましたか？

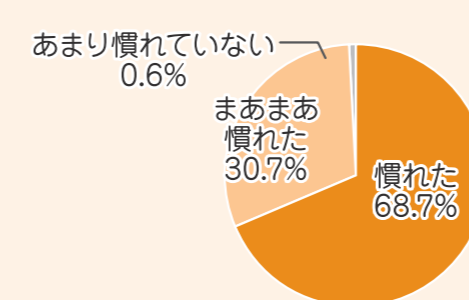


「遠くなった」と答えた児童のうち、約6割の児童が「遠くなったが、登下校時に友だちとお話できて楽しい」、約4割の児童が「遠くなったが、つらくはない」「最初は戸惑ったが、なれた」とそれぞれ回答をした一方で、約3割の児童が「遠くなって大変になった」と回答しています。

保護者アンケート

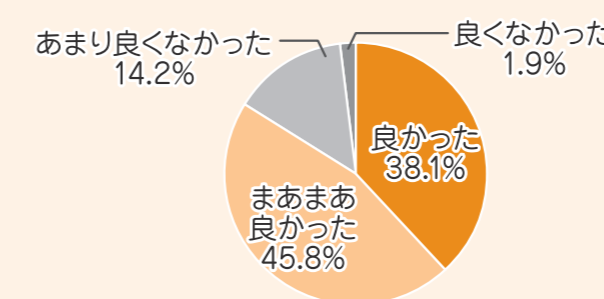
回答数325件(回答率90.2%)

●お子様は石山緑小学校に慣れたように感じますか？



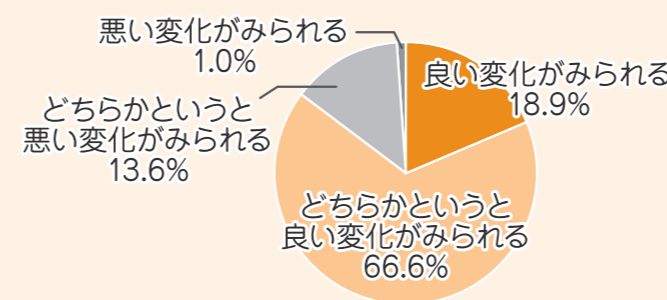
「慣れた」「まあまあ慣れた」と回答した保護者が9割を超えています。

●石山緑小学校になり児童数が増えましたが、そのことについてどう感じますか？



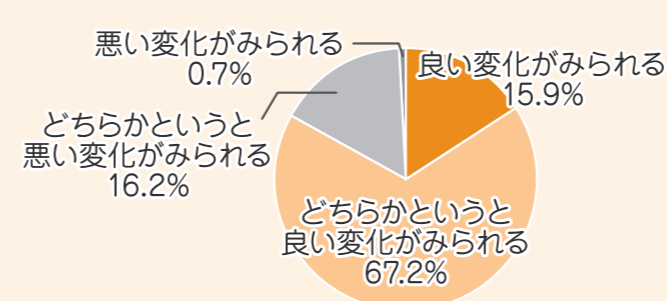
「良かった」「まあまあ良かった」と回答した保護者が全体の8割を超えています。

●石山緑小学校になり、お子様の学習意欲に変化はみられますか？



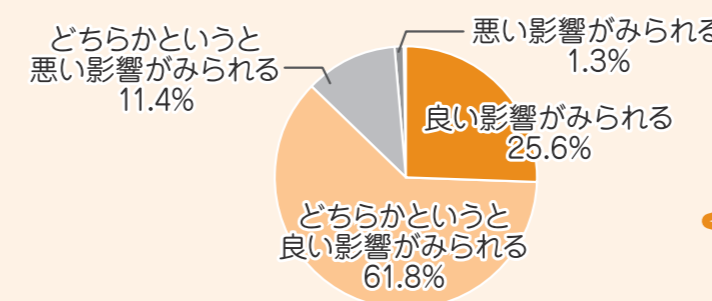
「良い変化がみられる」「どちらかというが良い変化がみられる」と回答した保護者が8割を超えています。

●児童数増加に伴い、運動会や学習発表会など、学校行事についてお子様に変化はみられますか？



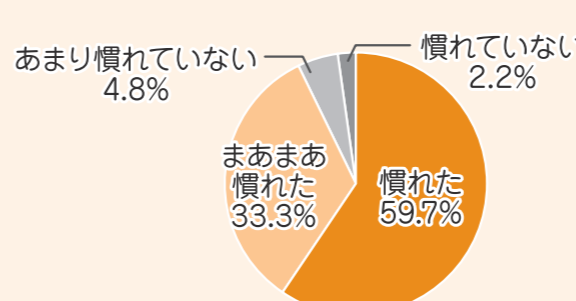
「良い変化がみられる」「どちらかというが良い変化がみられる」と回答した保護者が8割を超えています。

●統合により、お子様の人間・友人関係に影響はみられましたか？



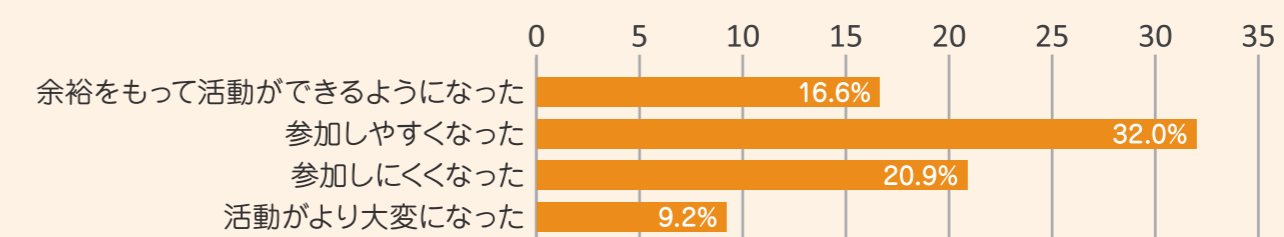
「良い影響がみられる」「どちらかというが良い影響がみられる」と回答した保護者が8割を超えています。

●(元石山南小学校保護者のみ)通学路が変わりましたが、お子様は慣れたように感じますか？



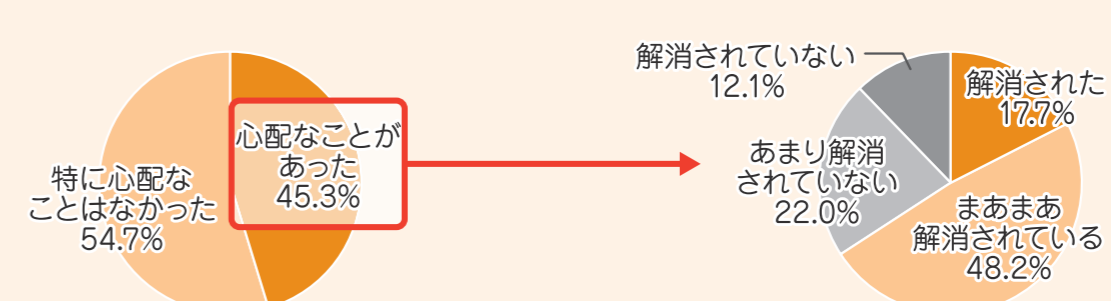
「慣れた」「まあまあ慣れた」と回答した保護者が9割を超えています。

●石山緑小学校になり、保護者の人数も増えました。PTA活動など、保護者活動にどのような変化がありましたか？(複数回答)



約3割の保護者が「参加しやすくなった」と回答した一方で、約2割の保護者が「参加しにくくなった」と回答しています。

●開校前に心配なことはありましたか？



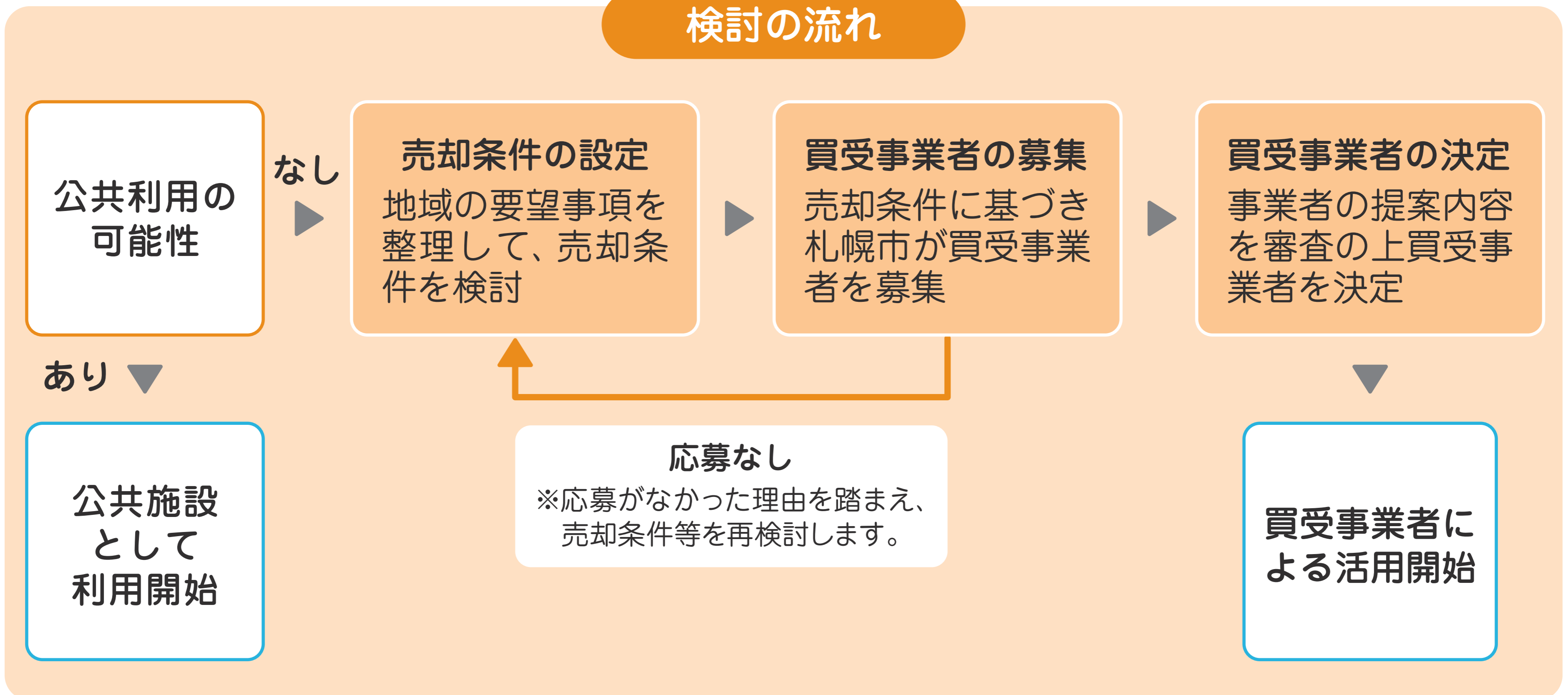
「心配なことがあった」と回答した保護者のうち、6割以上が「解消された」「まあまあ解消されている」と回答しています。

閉校した学校の跡地ってどうなるの？

公共利用の可能性がなければ、地域のみなさんの要望を踏まえて民間事業者への「条件付き売却」を検討します。



検討の流れ



地域からの要望に基づく売却条件(例)

地域住民の交流スペースの設置 / 緊急時の避難場所としての活用 / スポーツ交流の場の確保 など

跡地活用事例 1 光生舎 ゆいま～る・もみじ台 (旧「もみじ台南小学校」)



施設概要	新施設名 光生舎ゆいま～る・もみじ台(事業者/社会福祉法人北海道光生舎) 事業内容 特別養護老人ホーム、通所介護事業所、居宅介護支援事業所等 事業開始年月 2012年11月 ※2015年9月、校舎(体育館を除く)を解体し、施設を新築
売却条件	地域交流スペースの設置、地域交流事業の実施、地域防災への協力 など
実施状況	夏祭りや花壇の花植えなど、地域との交流事業を実施 地域交流スペースや体育館を開放し、お茶会やスポーツ交流の場として、地域の方々が利用 避難所に指定され、災害時には地域の方々を一定期間受け入れることとしている 等

跡地活用事例 2 カミニシヴィレッジ (旧「上野幌西小学校」)



施設概要	新施設名 カミニシヴィレッジ(事業者/学校法人大藤学園) 事業内容 認定こども園、コミュニティ施設等 事業開始年月 2021年4月
売却条件	地域住民が集える場の設置、スポーツ振興の場の設置、緊急時の避難場所の提供 など
実施状況	幼児教育と地域コミュニティを組み合わせた様々な取り組みの実施 体育館、グラウンド、会議室等を地域の方々に開放 体育館をプロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」が利用 等

【留意事項】売買契約上、売却から10年間(民法上の最長期間)は提案内容と異なる事業を実施した場合などに買戻しを可能とする特約を締結することで、売却から10年間は提案内容に基づく事業の実施を担保します。

小中一貫校〔義務教育学校〕ってなに？

小中一貫校（平成28年度に制度化）

法整備された仕組みであり、9年間を通じた教育課程の編成や系統的な教育を目指す学校

併設型小学校・中学校

組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態であり、それぞれに校長、教職員組織を有する学校

義務教育学校

一人の校長の下、一つの教職員組織で義務教育9年間の系統性を確保した教育課程を編成、実施する学校

どちらの学校であっても施設の形態（一体型、隣接型、分離型）は問わない。

札幌市
では

一定の条件※を満たす地域については、**組織が一つで校舎も一体**である**義務教育学校**の設置を検討することとしたんだよ。

※一定の条件

- 小学校と中学校の校区が概ね一致していること
- 小中一体の校舎である、または小中一体の校舎整備を行うこと

校長が一人

同一の校舎

前期課程
(小学校段階)の児童

同じ職員室に
小学校段階と
中学校段階の教職員

9年間を通じた
系統的な教育

後期課程
(中学校段階)の生徒

● 現段階における札幌市の義務教育学校開校予定

令和5年度	義務教育学校福移学園	東区
令和7年度	(仮称)定山溪地区義務教育学校	南区
令和8年度	(仮称)真駒内地区義務教育学校	南区
令和9年度	(仮称)厚別南・青葉地区義務教育学校	厚別区

小中一貫校〔義務教育学校〕になるとどう変わる？

札幌市が考える義務教育学校の主な利点

- 札幌市が推進する「小中一貫した教育」の先進的な取組が期待できます。

学びのつながり

9年間を見通した学習指導を行うことで、分かる・できる・楽しい授業による連続性のある教育を推進します。

また、5年生の段階から教科担任制を取り入れるなど、柔軟な学習環境を導入することができます。

9年間の見守り

子ども一人一人の成長を9年間じっくりと見守ることができ、小・中それぞれの指導のよさを取り入れ、子どもの個性をより生かした活動を行うなど、切れ目のないきめ細かな子どもの育ちを支援することができます。

教職員の連携・協働

子どもに分かりやすく指導できる小学校の先生と、教科の専門性を生かして指導できる中学校の先生の日常的な連携・協働により、先生方の授業力の向上が期待できます。



学校・家庭・地域のつながり

目指す子ども像等の実現に向けて、学校・家庭・地域で連携・協働しながら、9年間安定した関わりをもつことができます。

- 学校が目指す子ども像の実現に向けて、学年の区切りを柔軟に設けたり、日常的に幅広い異学年交流を行ったりすることができます。

他都市では、9年間で4年-3年-2年に区切るなどの事例があります。

他都市の事例

前期課程				後期課程					
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
1年～4年(最初の区切り) ● 4年生をリーダーとした縦割り活動 ● 1～4年生で学習発表会を実施				5年～7年(接続する区切り) ● 5年生段階から教科担任制の一部実施 ● 委員会活動、部活動 ● 5年次からの50分授業			8・9年(最後の区切り) ● 学校のリーダーとしての活動		

子どもの「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実につながります

よくある質問



Q. 入学式や卒業式はどうなりますか。

A. 一つの学校になることから、入学式が1回、卒業式が1回となります。ただし、学年段階の区切りを踏まえ、児童生徒の新たな段階に入る自覚を高めるような行事等を行うことも可能ですので、今後、学校で検討してまいります。

Q. 義務教育学校になることで先生が減るのではないのでしょうか。

A. 義務教育学校は、小中を一つの学校としますが、教員配置は通常の小中学校と同様、小学校段階、中学校段階それぞれの児童生徒数に応じて算出することから、先生が減ることにはなりません。

Q. 制服や学校行事はどうなるのでしょうか。

A. 現時点では決まっていません。義務教育学校の設置が確定した後、学校が保護者、地域と相談しながら検討していきます。

Q. 中学校の学習を小学校で先取りできるのですか。

A. 中学校段階の授業の先取り(指導内容の入替え)も制度的には可能です。しかし、札幌市においては、転出入者への学習指導上の対応の観点から行わないこととしています。



この地域の学校はどうなるの？

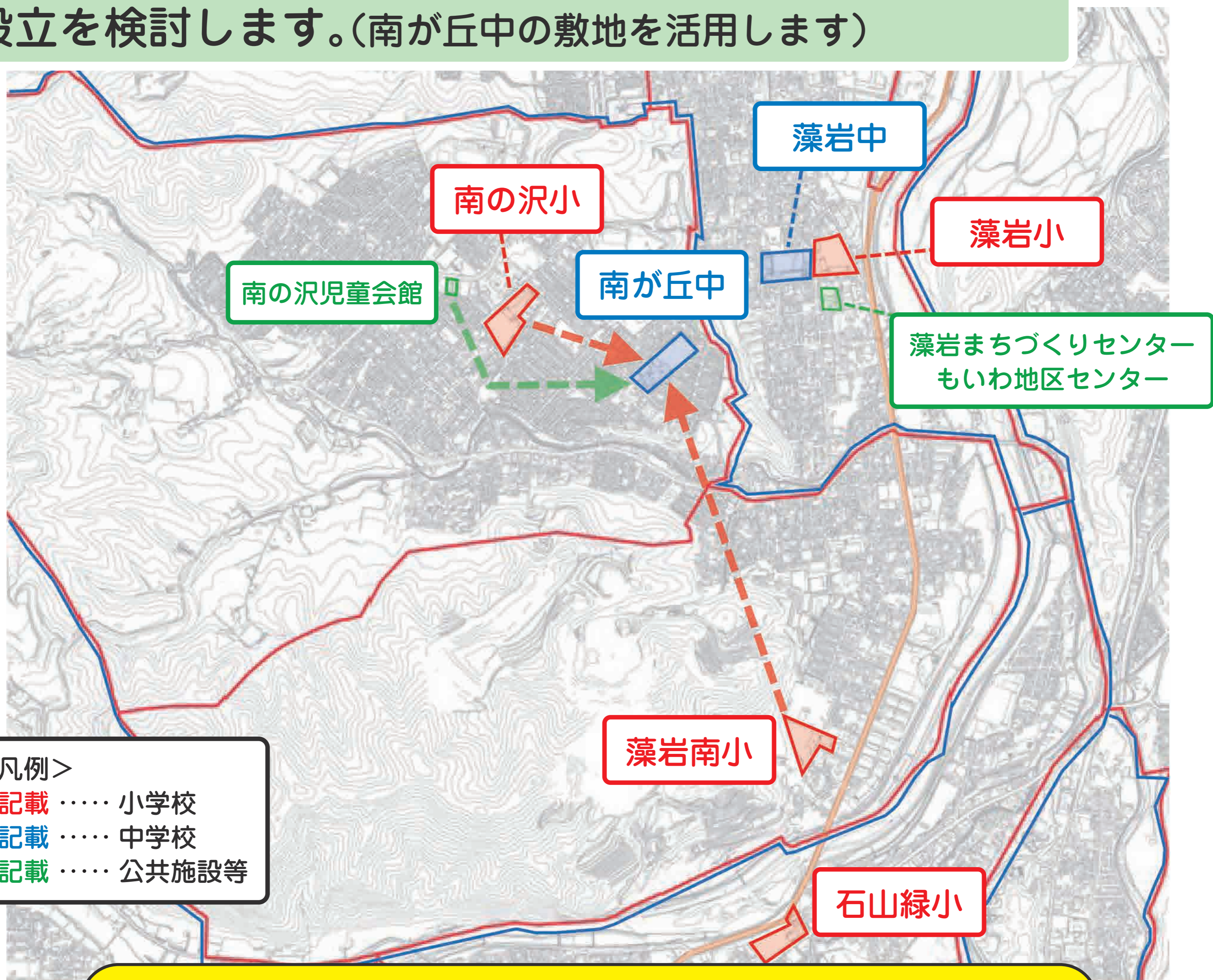
<ピーク時、令和4年度実績及び令和4年5月1日時点の住民基本台帳データに基づく推計値> (単位…児童生徒数：人 / 学級数：学級)

	ピーク時		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)		R8(2026)		R9(2027)	
	児童数 生徒数	学級数	児童数 生徒数	学級数	児童数 生徒数	学級数	児童数 生徒数	学級数	児童数 生徒数	学級数	児童数 生徒数	学級数	児童数 生徒数	学級数
藻岩南小	638	18	169	7	152	6	147	6	155	6	158	6	156	6
南の沢小	1,067	30	400	13	374	13	390	14	379	14	384	14	356	13
南が丘中	921	24	345	11	339	10	313	9	294	9	257	9	271	9

※1 特別支援学級を除く

※2 ピーク時は藻岩南小:S63(1988)年、南の沢小:H3(1991)年、南が丘中:H4(1992)年

藻岩南小・南の沢小・南が丘中による義務教育学校の 設立を検討します。(南が丘中の敷地を活用します)



<凡例>

- 赤記載 …… 小学校
- 青記載 …… 中学校
- 緑記載 …… 公共施設等

※取組イメージであり、決定事項ではありません。

今後、この地域では「藻岩・南沢地区学校配置検討委員会」が開催され、具体的な検討を行っていきます。

検討状況につきましては、検討委員会開催ごとにニュースでお知らせするとともに、皆さんの意見を募集いたします。

気になる点や不明な点があれば、ご遠慮なく職員へお声かけ下さい。
また、アンケートへのご協力をお願いします。